

# 京都府漁海況情報

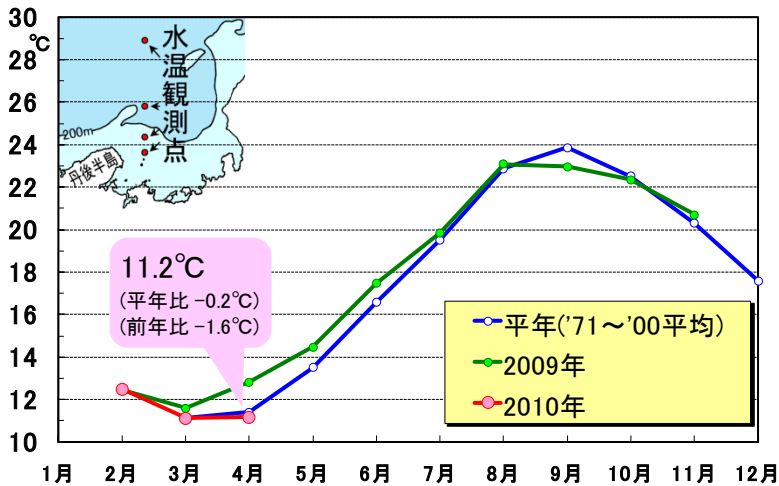
京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部  
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>  
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

## 海の状況

### 【現況】

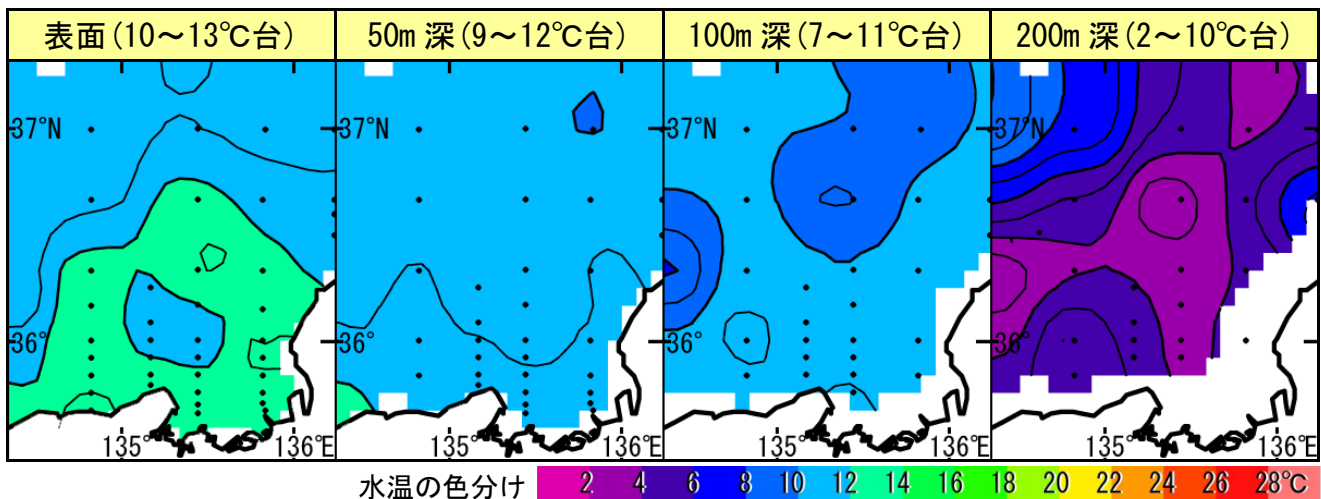
4月上旬における京都府周辺の表層水温は、ほぼ平年並みで推移していました。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2010年4月上旬)

資料元: (独)日本海区水産研究所



### 【今後の見込み】

資料元: (独)日本海区水産研究所, 気象庁, 九州大学応用力学研究所

向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「やや低め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年並み」で推移する見込み
沖合からの冷水域の張り出し*	「平年並み」で推移する見込み

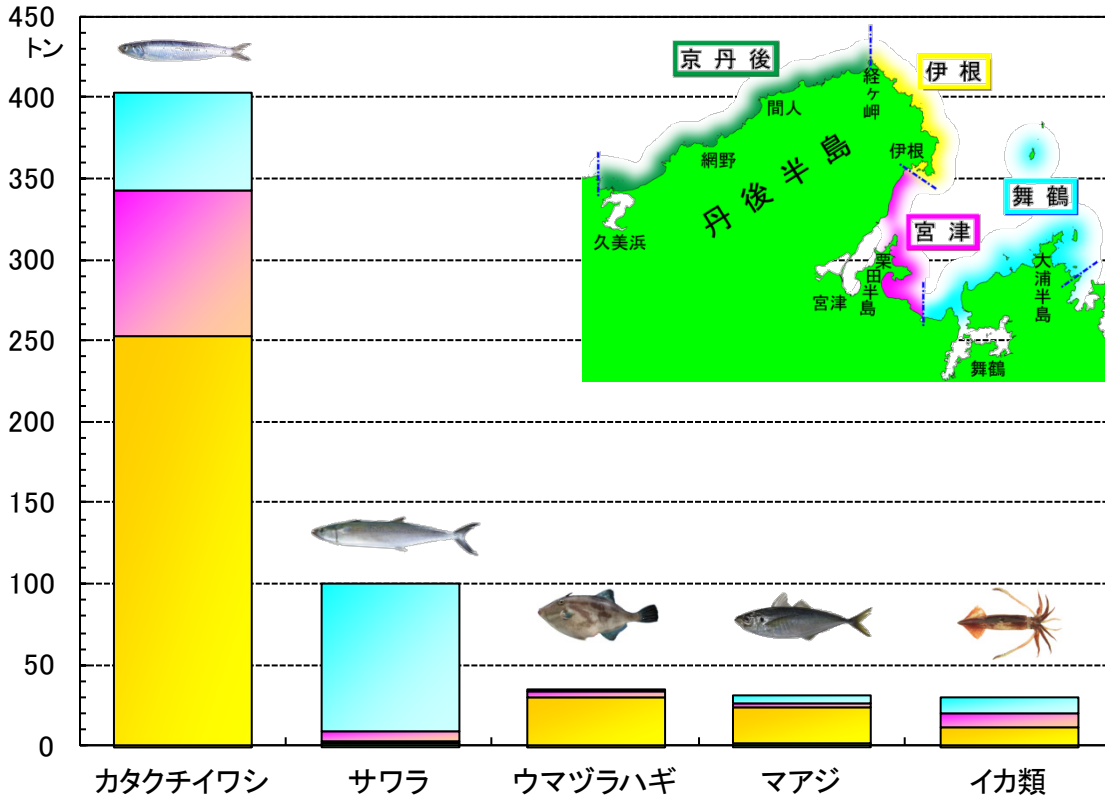
\*冷水域の張り出しが強いと、対馬暖流域に生息するブリなどの浮魚類が沿岸に来遊しやすいと考えられています

# 漁模様 ～2010年3月～

## 【定置網漁業】

全体では平年の9割弱、カタクチイワシが多獲された前年の5割弱の水揚げにとどまりました。

2010年3月の地域別漁獲量(上位5魚種)



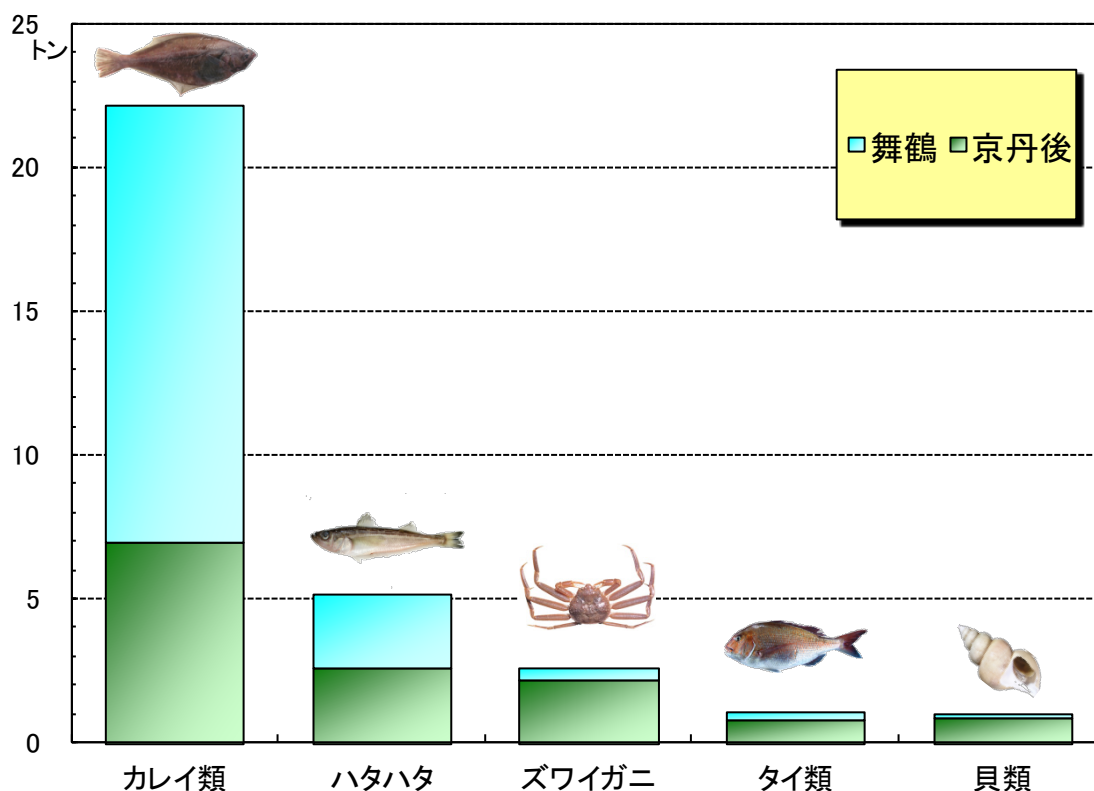
3月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2010年	2009年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ(たれ)	403.7	1216.6 (33%)	517.9 (78%)	<カタクチイワシ> 体長 4~15cm 台で、主体は 12~14cm 台および 5~6cm 台でした。 <サワラ> さごし銘柄(尾さ長 40~50cm 主体)が5割弱、それより大きなさわら銘柄(尾さ長 60~70cm 台主体)が 5割強でした。
サワラ	100.5	55.1 (182%)	35.3 (284%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	35.5	1.2 (2839%)	2.0 (1756%)	
マアジ	31.5	121.5 (26%)	125.7 (25%)	
イカ類	30.4	23.2 (131%)	68.7 (44%)	
サバ類	20.6	29.4 (70%)	22.6 (91%)	
マグロ類	17.5	1.8 (974%)	0.6 (2755%)	
スズキ	15.4	14.6 (105%)	8.5 (182%)	
ウルメイワシ	11.6	1.2 (928%)	3.2 (362%)	
カナガシラ	11.4	7.3 (155%)	6.3 (179%)	
その他	55.7	73.5 (76%)	65.6 (85%)	
合計	733.6	1545.4 (47%)	856.5 (86%)	

平年は過去10年平均

## 【底曳網漁業】

時化により出漁日数が前年や平年に比べ少なく、水揚げは全般に低調でした。

2010年3月の漁獲量(上位5魚種)

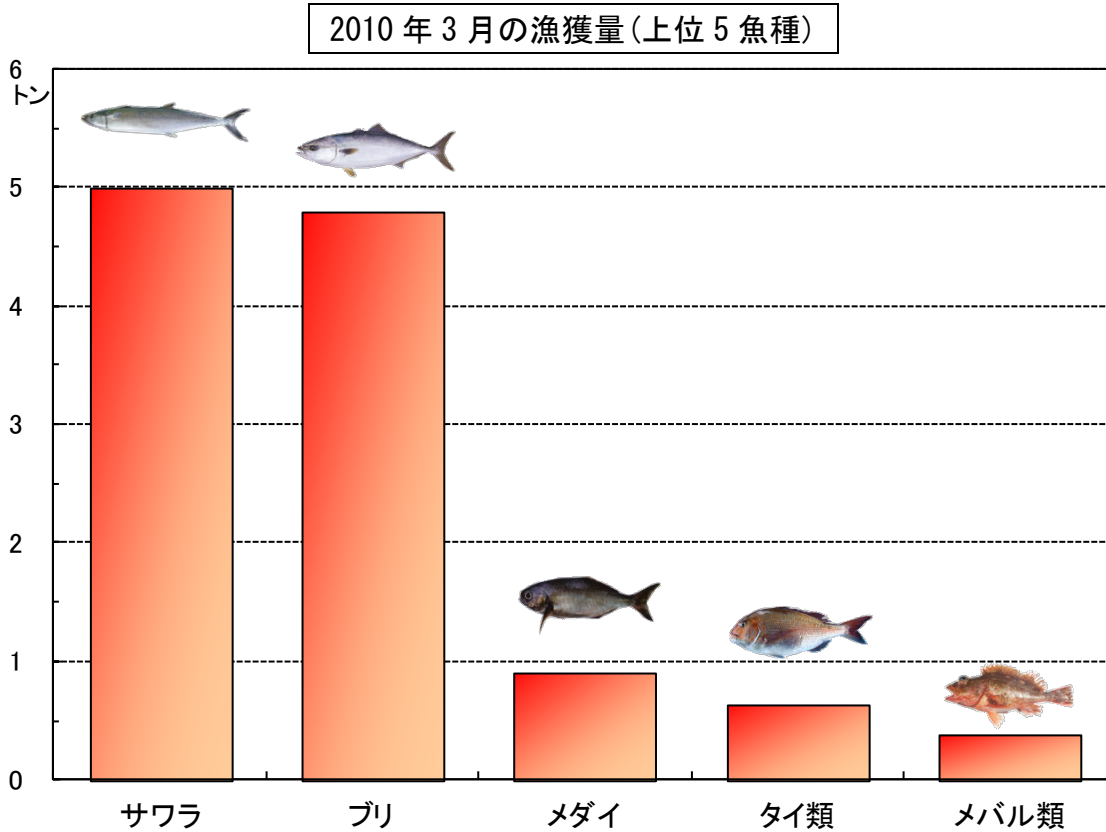


3月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2010年	2009年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	22.2	56.1 (40%)	41.6 (53%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が16.5トン、ヒレグロ(黒がれい)が3.0トン、ソウハチ(えてがれい)が2.3トンなどでした。 <ズワイガニ> 京都府では自主的に水ガニの漁獲を禁止しています。オス(松葉がに)は3月20日に漁期を終えました。
ハタハタ	5.2	19.8 (26%)	61.4 (8%)	
ズワイガニ(松葉がに)	2.6	1.9 (133%)	9.7 (26%)	
タイ類	1.1	0.5 (240%)	1.4 (82%)	
貝類	1.0	1.4 (71%)	0.9 (108%)	
ニギス(沖ぎす)	0.9	0.4 (258%)	3.4 (27%)	
スズキ	0.6	0.7 (86%)	0.5 (121%)	
エビ類	0.6	1.6 (39%)	1.0 (59%)	
アンコウ	0.5	0.5 (84%)	1.7 (28%)	
ヒラメ	0.3	0.2 (205%)	0.3 (114%)	
その他	2.4	4.5 (53%)	7.8 (30%)	
合計	37.4	87.6 (43%)	129.8 (29%)	

平年は過去10年平均

## 【釣り・はえなわ漁業】

全体では平年の7割強および前年の6割強の水揚げでした。



3月漁獲量(トン) 京都府漁連集計					
魚種	2010年	2009年(前年比)	平年(平年比)	備考	
サワラ	5.0	7.1 (71%)	2.7 (185%)		
ブリ	4.8	9.5 (50%)	8.0 (60%)		
メダイ	0.9	0.1 (690%)	1.0 (93%)		
タイ類	0.6	0.9 (68%)	1.3 (50%)		
メバル類	0.4	1.2 (31%)	1.3 (29%)		
アマダイ	0.3	0.5 (57%)	0.9 (33%)		
サヨリ	0.2	-	-		
イカ類	0.1	0.2 (50%)	0.5 (25%)		
ハウボウ	0.1	-	-		
カレイ類	0.1	0.2 (51%)	0.1 (68%)		
その他	1.4	2.5 (55%)	2.7 (51%)		
合計	13.9	22.3 (62%)	18.5 (75%)		

平年は過去10年平均

## 【トピック ～ウマヅラハギが好漁～】

この冬、定置網ではウマヅラハギ(長はぎ)が好漁です。前年10月から今年3月までの漁獲量は、平年比1.9倍の約220トンに達しています。

ウマヅラハギは雑食性で、クラゲ類も好物であることが知られています。

前年のように、日本海で大型クラゲの出現が特に多かったとされる2005年の冬漁期もウマヅラハギは好漁でした。大型クラゲの大量出現と、その冬のウマヅラハギの漁模様との関連の有無が注目されます。



大型クラゲを食べるウマヅラハギの群れ